

科目名:文化論ⅠⅡ 科目コード:A163 A164

単位名: 理容科:ヘアデザイン・ブライダルシェービングエステ

美容科:ヘアデザイン・メイク・ネイル・ブライダルスタイリスト・エステティック
・エッセンシャルクラス・就職進学クラス

1単位(30単位時間)

開講時期 1学年(前期・後期)

担当教員:福山和美 大堀京子 宮本隆行 塚田直子 松元初枝 長瀬達雅

●科目授業の目的と学生の達成目標:

日本の歴史を知り、その時代背景と理容師・美容師が発生した起源を知る

●成績評価の方法:

期末試験 模擬試験等

●教材・並びに教育方法:

理容師美容師教育センター指定の教科書を使用

定期試験の6割以上の成果を目指す

●特に必要な教育手法、講師、協力企業等

●この科目の今後の展開

過去の歴史を中心に授業を行うことによって、現実的な感覚に乏しくなることから、今の学生によりリアルに感じてもらう工夫が必要

●備考

前期 7月中間テスト

9月期末テスト

後期 2月期末テスト

3月実力テスト

* 各クラスで確認小テスト実施

* 夏期休暇、冬期休暇にはテスト対策問題の課題

成績不良者を補講することによってフォローし、再試験を行い単位認定する

回	時限	授業内容	実務経験のある教員
1	2	総論 大まかに紀元前から現代までの日本を学ぶ	
2	2	日本の理容業・美容業の歴史・理容業・美容業の発生 日本でどのように美容師という職業が生まれたのかを学ぶ	
3	2	江戸時代の理容業・美容業・近代の理容業・美容業 近代での美容業の移り変わりについて学ぶ	
4	2	現代の理容業・美容業 現代のボーダーレス時代の美容について考察する	
5	2	ファッション文化史(日本編・縄文・弥生・古墳時代)・古代(飛鳥、奈良、平安時代) 古代の髪型・服装について学ぶ	
6	2	中世(平安末、鎌倉、室町、戦国時代) 着物文化の変化と髪型について学ぶ	
7	2	近世Ⅰ(戦国末、安土桃山時代) 代表的な日本髪の名義と形を学ぶ	
8~9	4	近世Ⅱ(江戸時代) 洋髪の発生と日本髪の衰退の時代背景を学ぶ	
10	2	近代(明治、大正、昭和20年まで) 数々の大戦を乗り越えて美容がどのように変わってきたかを学ぶ	
11	2	現代(1945~1950) 第二次世界大戦後の日本の美容について	
12	2	現代(1960~1970) 高度経済成長期の日本の美容業界	
13	2	現代(1980~1990) 高齢化に伴う、生活の変化と髪型について	
14	2	現代(2000年以降) 少子化・超高齢化時代を迎え、今後の美容業界のゆくえ	